

BCJ-SAR ISOだより Vol.17



財団法人 日本建築センターシステム審査部
〒101-8986東京都千代田区外神田6-1-8

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>

Eメール sinsa@bcj.or.jp

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します

我が社のISO(その16)

『我が社のISOは全員参加』

我が社のISOキックオフは2000年8月。書類審査、予備審査を経て2001年5月に登録が認証されました。

以後2回の更新審査をパスし、社内ですっかりISOが定着したと自負しています。

*

少し我が社の紹介をさせていただきます。

明治40年(1907年)、太平洋に注ぐ富士川の上流、山梨県東部を流れる笛吹川が大氾濫を起こしました。川の形が大きく変わり、それまで川だった場所が大きな空き地となってしまいました。この廃河川敷の復旧事業が明治43年(1910年)の我が社創業のきっかけです。

**

戦後の高度経済成長を経て、現在、我が社を含めた地方の建設業は公共投資の大幅削減と入札制度改革により大きな、しかもたいへん急な曲がり角に直面しています。

また地方経済は大都市圏と異なり、なかなか回復の兆しが見えません。

それでも我が社は人口7万人余の地域を代表する建設会社として、厳しい時代を生き残らなければなりません。

創業から約100年、地域に提供し続けてきた建設技術を次の100年へとつなげていく使命があると思っています。

風間建設株式会社

代表取締役
風間 純哉



一方で、公共工事の入札制度は従来の価格オンリーの考えから技術力が評価される総合評価方式へとシフトしています。

また耐震強度偽装問題をきっかけに建築物の適正価格も見直されつつあります。

これからの数年間、建設会社の「技術力」が会社の生き残りを左右すると言っても過言ではないと思います。

そして私は技術力を研鑽するのにISOが大きな武器になると考えています。

我が社のISOは徹底的に「全員参加」です。ISO担当部署任せではなく、1人ひとりの技術者、営業・総務の社員が皆、ISOに携わります。新入社員や中途入社社員もいますが、かなり浸透していると思います。

しかし、内部監査で不適合があまり指摘されないなど、まだまだISOで会社を改善するぞ、という「気迫」のようなものが感じられない場面もあります。これは「技術力で生き残る」という経営者の気持ちが足りないことの現われかな、と反省するところです。

我が社は2回の更新審査を経て、記録の書き方、書類のそろえ方などISOテクニ

ックは十分身に付けました。これからは経営者が強いSpritをもち、社内に吹き込み続けることで「次の100年」につながる技術力を地域に提供し続けることができるのではないかと考えています。

●風間建設株式会社の概要

- 1910年1月 創業
- 1941年6月 風間建設株式会社設立
- 2001年5月 ISO9001:2000 認証取得
- 主な業務内容 総合建設業(土木・建築)
- 所在地：山梨県笛吹市



審査員の目(その20)

田中 清

システム審査部
登録審査員
JRCA登録主任審査員
CEAR登録審査員補



『マネジメントシステム審査で 大事にしていること』

「これではまずいでしょうか?」「当社のマネジメントシステムは他社と比べて何点くらいでしょうか?」と言った発言が審査の場面で聞かれたことがありました。受審企業は、一生懸命品質マネジメントシステムを理解しようとし、規格に沿ってプロセスごとの手順書や帳票を作り、正しく運用しているのです。わが国は、天皇自ら田植えをされることで象徴されるように労働を、そして努力を尊ぶ国民性です。現場や事務所では示された予定を達成するように関係者それぞれが懸命に努力しています。また、企業は瑕疵対応として所有権が移転した後も契約当事者間で合意に達するよう適切に対応しています。

*

私は、以前所属した企業で第三者認証の費用対効果について役員や部門責任者と何回も議論しました。ご存知の様に、ISO9001規格は適用範囲1.1一般において、a)要求事項を満たした製品の供給能力を実証する、b)更なる顧客満足の向上を目指す場合と条件を想定しており、ISO14001規格は1.

適用範囲で組織の立地条件に対応して規制要求事項に加え自己宣言する場合を想定していますが、マネジメントシステム中の種々のポイントは費用対効果を説明する指標として大変有効であると考えています。

マネジメントシステムの仕組みを作った人は、その時点で自社の最善を表現していると思っています。しかしながら規格要求事項への適応にのみ焦点を当てて、誰の為の、何に対すると云ったスタンスをどこに置くかを素通りして「品質マニュアル」や「品質方針」が出来上ってしまっていることがあります。これでは「仏作ってなんやら」です。

**

組織(企業)はブラックボックスで、外からはどうなっているのか分からないと言われます。プロセスアプローチはインプットとアウトプット、インフラストラクチャや作業環境を明確にして「力量」を示せ。活動は責任権限が整備されてリリースにはしかるべき承認を求める等々、所謂、再現性について「見える管理」が求められています。一方、原材料の性能変化管理やより広範囲の監視測定プロセスの採用、問題点の中からどれを“不適合”として取り上げるかの基準、最終成果物そのものだけでなくそれを生じた過程活動まで問題の対象を広げるかの適用範囲、是正処置における原因究明(理由の追求ではなく犯人探しでもない)と対策、予防処置によるリスク回避の先手対策など信頼性に焦点を当てた「見える管理」も求められています。

法規制要求事項はそれまでの学術的知見に基づき、産業界の対応力を加味して多数の事例に対して決定されている訳で、ものづくりの原理原則やものの経年の機能・性能維持、特殊工法などについては、必要条

件であると思います。自由化の流れによって組織は、その道のプロとして「提供を意図した製品」の十分条件を想定した仕様を契約事項に含めると共に、第三者に公表する場がマネジメントシステム認証で与えられていると考えています。(対象はあくまで、マネジメントシステムの有効性に限定してのことですが。)

審査員として、そのシステムが有効で、適切で、妥当であるかを判断し、不足していれば説明する立場にある訳で、法規制の変化、技術革新の動向など組織に所属していた時と同じ気持ちで、専門性を有すると認められた分野の信頼性を高める努力を続けております。



システム審査部からのお知らせ

■今後開催される登録判定会議の日程は下記の通りです。

11月13日(火)、12月11日(火)
1月21日(月)

■再認証(品質)又は更新(環境)を迎える組織の皆様へのお願い。 **重要**

審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって再認証申請書(品質)又は更新申請書(環境)をご提出されますようお願いいたします。(再認証又は更新申請書の他に「申請者調査表」の提出が必要になります。)

申請書及び調査表は(財)日本建築センターホームページ(<http://www.bcj.or.jp>)よりダウンロードして戴くか、「QMS認証の手引き(QMR42)又は環境マネジメントシステム審査登録の手引き(ER39)」に添付されている様式をご利用下さい。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

システム審査部
TEL 03-5816-7522
FAX 03-5816-7544



認証組織の集い開催のご案内

■システム審査部では、認証組織の方々を対象に東京及び大阪において「認証組織の集い」を開催いたします。

先般JAB MS 100(JIS Q 17021)に対応して改訂致しました「QMS認証の手引き」を基に、ご登録頂いている組織の皆様に関係する主な事項等、最新の手順についてご説明致します。

また、当日は皆様との「意見交換会」も予定しておりますので、よろしくご参加下さい。

東京会場
11月8日(木) 14:00~17:00
当センター会議室

大阪会場
11月16日(金) 14:00~17:00
大阪建築会館会議室

問い合わせ先
システム審査部登録課
矢實(ヤサネ)、山貝(ヤマガイ)
TEL 03-5816-7522
FAX 03-5816-7544



編集後記

類い希な猛暑も陰を潜め、気が付いたら秋の気配が漂い始めた今日この頃、ホッと一息ついてることと思います。

さあ秋本番、食べ物が美味しい季節です! よく食べ、よく眠り、スポーツに興じたり、旅行に行ったり... 夢はつきることがありません。ひよっとしたら夢を見ているときが一番楽しいのではないのでしょうか。

システム審査部は審査員、事務局ともに皆様のお役に立てるよう引き続き努力していく所存です。



品質マネジメントシステム新規認証組織紹介(2007年8月～2007年10月)

認証番号 (BCJ-QS)	被認証組織名・事業所名	所在地	認証された品質マネジメントシステム
0859	東洋シャッター株式会社 技術部	奈良県磯城郡	シャッター、鋼製建具、オーバードア、イー ジードア、金物（錠前、各種金物）、建材製 品、電装製品の設計・開発 『適用除外項目：7.5.2 製造及びサービス 提供に関するプロセスの妥当性確認』
0860	株式会社 リンクス・ビルド	千葉県船橋市	建築物の設計、工事監理及び施工
0861	株式会社 竹澤設備	福井県福井市	管工事、水道施設、消防施設、さく井、機械 器具設置の設計及び施工

環境マネジメントシステム新規登録組織紹介(2007年8月～2007年10月)

登録番号 (BCJ-EMS)	登録組織名・事業所名	所在地	登録された環境マネジメントシステム
0136	小幡解体興業株式会社	群馬県前橋市	建築物及び工作物解体、産業廃棄物運搬、処 理
0137	東京セキスイハイム株式会社 本社〔技術統括部〕 東京支店〔設計・施工グルー プ（施工課、施工技術課）、 品質保証グループ（安全環境 課、アフターサービス課、検 査課、お客様相談室）〕 神奈川支店〔設計施工グルー プ（施工1課、施工2課、施 工3課、安全管理課）、品質 保証グループ（環境管理課、 アフターサービス課、検査課、 相談室）〕 千葉支店〔設計施工グループ （工事1課、工事2課）、品 質保証グループ（安全・環境 課、アフターサービス課、検 査課、お客様相談センター）〕 埼玉支店〔設計・施工グルー プ（工事1課、工事2課、工 事3課）、CS・保証グルー プ（安全・環境課、アフター サービス課、検査課）〕	東京都台東区	工業化住宅の施工及びアフターサービス